

# 中学生に なに読もう？

## —友情・愛情の絵本—

中学生に絵本の読み聞かせをしてみようという方を対象とした、テーマごとのリストです。図書に関する記載事項は、書名・編著者名・画家名・訳者名・出版社・大きさ・ページ数・大阪市立図書館書誌ID・通して読むのにかかる時間の目安の順になっています。

**おおはくちょうのそら** 手島圭三郎著・絵 リブリオ出版 31cm 41p 0000848798  
5分

北海道の自然を背景に、オオハクチョウの家族のきずなど別れを描きます。自然の厳しさ、親子の情愛、生命の素晴らしさがストレートに伝わってきます。木版画による絵は力強く、少し離れたところから見ても印象的です。



**ギルガメシュ王ものがたり** ルドミラ・ゼーマン著・絵 松野正子訳 岩波書店 27×30cm 24p 0000324574 12分

大昔のメソポタミアにギルガメシュという孤独で残虐な王がいました。森の野人エンキドゥは都で一番の美女シャマトに頼まれ、民衆を救うため王と対決しますが、真剣勝負の場で友情が芽生えます。古代の壁画を模した横長の絵が、神話の雰囲気を一層引き立てます。

**こおりのなみだ** ジャッキー・モリス著・絵 小林晶子訳 岩崎書店 31cm 36p 0012577138 15分

世界が始まったころの氷の大地で、人とシロクマ、2つの家族の間で育った子どもの物語です。親子のきずなが文章からひしひしと伝わってきます。遠近を効果的に使った、力強い絵は迫力があり、神話のような物語を深く印象づけます。

**ことりをすきになった山** アリス＝マクレーラン著 エリック＝カール絵 ゆあさ ふみえ訳 偕成社 30cm 24p 0000182189 12分

岩山は雨や雪の冷たさしか知りません。ことり「ずっとここにいて」と頼みますが、ことりは春ごとに立ち寄るだけでした。しかし、ことりの子孫が代々おとずれ、山が緑に変わったときに願いはかないます。時間を越えてうけつがれる愛情を描き、感動をよびます。

**しろいうさぎとくろいうさぎ** ガース・ウィリアムズ著・絵 まつおか きょうこ訳 福音館書店 31cm 31p 0010301855 6分

誰かを好きになるというのは、どういうことなのか。せつない思いが、ちいさなうさぎたちのやさしい言葉でつづられます。モノトーンに近い抑えた色調の中に、花々の黄色が鮮やかに映え、詩情を感じさせる絵が物語によく合っています。

**だくちるだくちる** —はじめてのうた— 阪田寛夫著 長 新太絵 V・ベレストフ原案 福音館書店  
32cm 33p 0000364650 3分

人間がうまれるずっとずーっとまえ、ひとりぼっちのイグアノンのところに、小さな恐竜プテロダクチルスが飛んできました。「だくちる だくちる」と鳴く、はじめての友だちに出会えた喜びが静かに伝わります。

**ともだち** 谷川俊太郎著 和田 誠絵 玉川大学出版部 26cm 73p 0010413866  
6分

あなたにとって「ともだちって」どんな言葉で言い表しますか。「ともだちなら」どうしますか。相手の気持ちがわからなくて悩んだり、けんかしたりしても、ともだちはともだちです。この本にはいろんな「ともだち」が詰まっています。



**ともだちからともだちへ** アンソニー・フランス著 ティファニー・ピーク絵 木坂 涼訳 理論社 29cm  
32p 0010490975 10分

パジャマのまま家にひきこもっているクマネズミに、「君は素敵な友だちだ」という内容の手紙が届きました。ところが差出人の名前が書いてなかったので、探しに出かけることにしました。思いやりが思いやりを呼ぶ、心あたたまる物語です。



**ともだちのしるしだよ** カレン・リン・ウィリアムズ著 カードラ・モハメッド著  
ダーグ・チャーカ絵 小林 葵訳 岩崎書店 24×31cm 32p 0011924371 8分

難民キャンプに届いた救援物資から、一足のサンダルの片方ずつを偶然見つけた二人の少女は、このサンダルを交代で履くことにします。次第に仲良くなる二人にある日、突然の別れが訪れます。強いきずなで結ばれた少女の姿に心を打たれます。

**ねずみとくじら** ウィリアム・スタイグ著・絵 せた ていじ訳 評論社 24×27cm 32p 0012123838 17分

海に落ちたねずみはくじらに助けられ、2匹は友だちになります。年月がたち、浜に打ち上げられたくじらを今度はねずみが助けます。淡々とした語り口ですが、もう会えないであろう大すきな友だちに、あったけの思いで「さよなら」とさけぶ結末に胸が熱くなります。

**パイルドライバー** 長谷川集平著・絵 ブッキング 31cm 33p 0010710011 3分

ブンくんはエッチちゃんのことが大好きなのに、いつもいじわるをしてしまいます。うわの空で散歩していたらエッチちゃんが現れ、自分の秘密を教えてくださいました。思春期入り口のくすぐったい気分がユーモラスに描かれています。

**ふしぎなともだち** たじま ゆきひこ著・絵 くもん出版 26×26cm 40p 0013013543 8分

不可解な行動をとる自閉症のやっくんは、はじめはとまどうぼくでしたが、クラスのみんなどともにやっくんを理解していき、心がわかりあえるともだちになります。違いを認め合い、共生してゆくことの大切さに気づかされます。

# 中学生に なに読もう？

—自分らしく生きる—

中学生に絵本の読み聞かせをしてみようという方を対象とした、テーマごとのリストです。図書に関する記載事項は、書名・編著者名・画家名・訳者名・出版社・大きさ・ページ数・大阪市立図書館書誌ID・通して読むのにかかる時間の目安の順になっています。

**エリザベスは本の虫** サラ・スチュワート著 デイビッド・スモール絵 福本友美子訳 アスラン書房 28cm 32p 0010632321 8分

エリザベス・ブラウンは大の読書家で、寝てもさめても本と一緒に過ごします。そして、ついに本が家にはいきらなくなり、とうとう図書館をひらいてしまいます。本に顔をうずめて読みふける様子を優しい水彩画と、リズムカルな文体で描きます。好きなことを貫き通し、かつ楽しむという生き方は痛快です。

**おじいちゃんの手** マーガレット・H.メイソン著 フロイド・クーパー絵 もりうち すみこ訳 光村教育図書 29cm 30p 0012343300 5分

ジョーゼフのおじいちゃんの手は、ロープを結んだり、ピアノを弾いたりと何でもできるのに、パン生地をこねることはゆるされませんでした。アフリカ系アメリカ人の人々が手をつなぎあい、社会を変えていく様が、力強い絵で静かに語られます。

**おばあちゃんは木になった** 大西暢夫著・写真 ポプラ社 27cm 39p 0010304166 13分

ダム建設が決まり、徳山村は水の底に沈むことになります。住人が街に引っ越すなかで、もう少し生まれ育った村で暮らしたいと、何人かのお年寄りが戻ってきました。昔ながらの生活と、人々の故郷への思いが写真を通して伝わってきます。

**ストライプ** —たいへん!しまもようになっちゃった—

デヴィッド・シャノン著・絵 清水奈緒子訳 らんか社 29cm 32p 0012791673 12分

カミラはリマ豆が大好きですが、他の人が嫌いなので、食べるのをがまんしていました。ある日、カミラの体は色とりどりのしま模様になってしまいます。周囲の言うことにあわせてくるくと模様が変わるカミラが、自分を取り戻すまでの大騒動をコミカルに描きます。



**でっかいでっかいモヤモヤ袋** ヴァージニア・アイアンサイド著 フランク・ロジャース絵 左近リベカ訳 草炎社 28cm 24p 0011095697 7分

ジェニーはいつもしあわせでした。でも、この頃ふとりはじめた気もするし、学校の成績も気になります。そんなモヤモヤとした気持ちが、ある日大きな袋になってあらわれました。不安や悩みを抱えたときはどうしたらいいのか？子どもの目線で、気持ちの整理の仕方を伝えます。

**ハルばあちゃんの手** 山中 恒著 木下 晋絵 福音館書店 30×31cm 42p 0011007384 7分

海辺の小さな町に生まれたハルは、ほくろのある器用な手を持っていました。ものを作り、働き、子どもを育てた手を通して、一人の女性の一生が静かに語られます。誠実に、懸命に生きたハルの姿が、緻密な鉛筆画で力強く描かれています。

**半日村** 斎藤隆介著 滝平二郎絵 岩崎書店 29cm 30p 0000165404 8分

高い山にさえぎられて、半日しか日がささない村がありました。ある日、一人の子どもが山から土を降ろしはじめます。最初はあきれていた村人たちも、やがて一緒に土を運び出すのでした。小さなことでもこつこつと積み重ねることで大きな力になることを、色彩を帯びた切り絵で力強く描きます。

**フレデリック** ーちょっとかわったのねずみのはなしー

レオ・レオニ著 谷川俊太郎訳 好学社 28cm 31p 0000211673 8分

野ネズミのフレデリックは、仲間たちが一生懸命働いている時も、考え事に夢中です。やがて冬になり、食べ物が底をついたとき、フレデリックの集めていた「いろ」や「ことば」が皆を救います。色彩豊かなコラージュで、灰色の冬に詩人の言葉が周りを明るく照らす様子が描かれます。



**ヤクーバとライオン 1 勇気** ティエリー・デデュー著 柳田邦男訳 講談社 31cm 32p 0011620020 6分

アフリカの少年ヤクーバは、戦士になる日を迎えました。ライオンを一人で倒すのです。しかし、ようやく見つけたライオンは、すでに傷つき、力もつきはてていました。本当の勇気とはなにかを、モノクロの力強い筆致で問いかけてきます。

**やっぱりおおかみ** ささき まき著・絵 福音館書店 27cm 31p 0012561130 4分

一匹だけ生き残っていたオオカミの子どもがいました。仲間を求めて街をうろつきますが、いるのは他の動物たちばかり。やがてオオカミは、オオカミとして生きるしかないと気がつきます。終始シルエットで表現されるオオカミが、孤独と自立を象徴します。

**雪の写真家ベントレー** ジャクリーン・ブリッグズ・マーティン著 メアリー・アゼアリアン絵 千葉茂樹訳 BL出版 26×26cm 32p 0000780479 11分

世界で初めて雪の結晶の写真を撮ることに成功したウィルソン・ベントレーの伝記です。故郷の村で、子どもの頃から大好きだった雪の研究を続けて、ついには世界的な「雪の専門家」と認められました。その生涯を、温かみのある素朴な版画で丁寧に描いています。

**ルピナスさん** ー小さなおばあさんのお話ー バーバラ・クーニー著 かけがわ やすこ訳 ほるぷ出版 21×27cm 32p 0070007658 11分

アリスは、世の中をもっと美しくするために何かをしようと、こどもの頃に祖父と約束しました。彼女は、仕事をし、世界中を旅して、忘れられない人や美しい国に出会います。そして自分の住む村をルピナスの花で埋め尽くしました。生きることを意味を、世界の美しさとともに描きます。



# 中学生に なに読もう？

## —こんな仕事あんな仕事—

中学生に絵本の読み聞かせをしてみようという方を対象とした、テーマごとのリストです。図書に関する記載事項は、書名・編著者名・画家名・訳者名・出版社・大きさ・ページ数・大阪市立図書館書誌ID・通して読むのにかかる時間の目安の順になっています。

**あたまにつまった石ころが** キャロル・オーティス・ハースト著 ジェイムズ・スティーブンソン絵 千葉茂樹訳 光村教育図書 26cm 30p 0010331517 10分

子どもの時から石集めが大好きな主人公は、みんなに「あたまに石ころがつまっている」と言われるほどでした。好きな事が仕事に結びつくお話が、柔らかな水彩のイラストと、ユーモラスな言葉のやり取りで心地良く描かれています。

**ありがとう、フォルカーせんせい** パトリシア・ポラッコ著・絵

香咲弥須子訳 岩崎書店 29cm 38p 0010207859 9分

トリシャは絵が得意ですが、LD(学習障害)のため文字や数字を読み取ることができず、学校ではずっといじめられていました。フォルカー先生に出会い、自信と希望を取り戻す姿を作者の少女時代をモデルに描きます。



**いつもみていた —ゆめをかなえた女の子ジェーン・グドール—** ジャネット・ウィンター

著・絵 まえざわ あきえ訳 福音館書店 23cm 44p 0012606815 12分

動物を見るのが大好きなジェーンは、アフリカでチンパンジーの観察をする仕事につきました。その研究成果は動物や森を守る運動に生かされます。ページいっぱいにも明るい色彩で描かれた動物たちの姿に、愛情のこもったジェーンの視線が反映されています。

**しごとをとりかえた おやじさん —ノルウェーの昔話—** 山越一夫再話 山崎英介絵 福音

館書店 20×27cm 32p 0000374537 6分

おかみさんの仕事ぶりを怒ってばかりいるおやじさんがいました。ある日二人は、お互いの仕事を取り換えることにしました。やることなすこと、とんでもないことになってしまうおやじさんの一日を、ユーモアたっぷりに描いています。

**とうちゃんはかんぱんや** 平田昌広著 野村たかあき絵 教育画劇 27cm 30p 0010984994 5分

商店街には、ぼくの父ちゃんが描いた看板が並んでいます。それぞれの商売にあわせたデザインがかっこよくてぼくの自慢です。手書き風の文字でこどもの気持ちが語られ、木版画で描かれる日常に心が温まります。

**時計つくりのジョニー** エドワード・アーディゾーニ著・絵 あべ きみこ訳 こぐま社 26cm 46p  
0000681980 11分

ジョニーは手先が器用で物作りが上手ですが、両親は全く認めません。あるとき、大時計製作を思い立ったジョニーは、それを学校で宣言して皆から馬鹿にされます。味方は近所のスザンナと鍛冶屋のジョーだけ。大時計はできるのでしょうか。くじけずに好きなことをやりとげる姿が描かれます。

**としょかんライオン** ミシェル・ヌードセン著 ケビン・ホークス絵 福本友美子訳 岩崎書店 30cm 42p  
0011387553 15分

図書館にライオンがやって来ました。きまりを守って仕事の手伝いをするライオンは人気者でした。ところが、館長さんが倒れたことを知らせようと、決まりを破って大声でほえてしまいます。ほのぼのとした筋立てとやさしい色合いの絵がよく合っています。

**歯いしゃのチュー先生** ウィリアム・スタイグ著・絵 うつみ まお訳 評論社 26cm 30p 0000139984  
10分

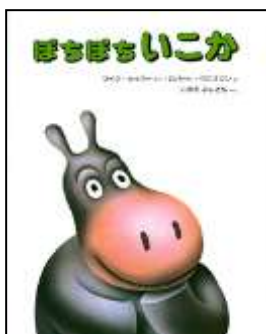
名医と評判のチュー先生はネズミです。先生を食べてしまうような動物はお断りしているのですが、キツネに同情して治療を始めます。始めた仕事は成し遂げる信念を持つチュー先生と、ずるいキツネとのやりとりや表情が愉快です。

**パパのしごとはわるものです** 板橋雅弘著 吉田尚令絵 岩崎書店 22×25cm 33p 0012285530  
5分

パパの仕事調べるために、僕はこっそり車に乗り込みました。そして、ずるいことばかりする悪者レスラーがパパだと知って、大きなショックを受けます。子どもが親の仕事を受け入れる、ということを経験した父と息子の味わい深いやりとりを通して描きます。続編の『パパはわるものチャンピオン』もあります。

**ペレのあたらしいふく** エルサ・ベスコフ著・絵 おのでら ゆりこ訳 福音館書店 24×32cm 16p  
0000237460 7分

ペレは飼っている子羊の毛を刈り取り、新しい服をつくることにしました。おばあちゃんや近所の大人たちの手を借り、毛を糸にし、布に織り、服を縫ってもらい代わりに、ペレはさまざまな仕事を手伝います。100年前の北欧の素朴な暮らしが描かれ、働いて手に入れることの大切さが感じられます。



**ぼちぼちいこか** マイク・セイラー著 ロバート・グロスマン絵 いまえ よしとも訳  
偕成社 26cm 32p 0000193128 (英文併記版:0012230030) 4分

「ぼく、しょうぼうしになれるやろか」「なれへんかったわ」カバはさまざまな職業にチャレンジし、ことごとく失敗しますが、へこたれません。エアブラシで描かれたユーモラスな絵と、原著の「NO」を多彩な関西弁に訳した文章がテンポよく、独特なおかしみを感じさせます。

**メアリー・スミス** アンドレア・ユーレン著・絵 千葉茂樹訳  
光村教育図書 22×27cm 30p 0010798114 6分

月曜日の夜明け前、メアリー・スミスは乾いた豆をチューブにつめ、窓をめがけてプツと飛ばします。パン屋を起こしたら、次は車掌の家へ。めざまし時計が普及する前、イギリスに実在しためざまし屋の仕事がいきいきと描かれます。



# 中学生に なに読もう？

## —戦争と平和の絵本—

中学生に絵本の読み聞かせをしてみようという方を対象とした、テーマごとのリストです。図書に関する記載事項は、書名・編著者名・画家名・訳者名・出版社・大きさ・ページ数・大阪市立図書館書誌ID・通して読むのにかかる時間の目安の順になっています。

**オットー —戦火をくぐったテディベアー—** トミー・ウンゲラー著 鏡 哲生訳 評論社 30cm 32p  
0010889353 9分

オットーは、第二次世界大戦前にドイツで生まれたクマのぬいぐるみです。ユダヤ人のデビッドからドイツ人のオスカーへ友情の証にと送られ、その後数奇な運命をたどっていきます。表情豊かなオットーを中心に、戦争によっても壊れなかった人のきずなが描かれています。

**きぼう —こころひろくとき—** ローレン・トンプソン著 千葉茂樹訳 ほるぷ出版 25×27cm 32p  
0011970696 3分

苦難にあった子どもたちの、かなしむ、怒る、手をさしのべられる、また、目の前のことに幸せを感じる表情が、大きく活写されています。その写真1枚1枚が力強く迫り、希望はすぐそこにある、私たちの中にあると語りかけます。

**くつがいく** 和歌山静子著 童心社 21cm×23cm 35p 0012705179 3分

ざっ、ざっ、ざっ、ざっ。ぼくたちくつはせんそうにいく。うみをわたってとなりのくにへ。外国を戦場に、人々を踏みにしてぼろぼろになっていく靴をとおして、戦争の悲惨さを描きます。くっきりとした輪郭の絵と淡々とした文章のなかに、平和を希求する心がこもっています。



**すみれ島** 今西祐行著 松永禎郎絵 偕成社 25cm 32p 0000245615 5分

昭和20年の春、ある学校の真上を毎日のように飛行機が飛んでいました。子どもたちは、その航空隊の兵隊さんに手紙を書き、すみれの花たばをおくります。二度と帰ることができない特攻隊の若者の思いを、語りかけるような文章と淡い色彩の絵で描いており、命の尊さを伝えます。



**せかいいちうつくしいぼくの村** 小林 豊著 ポプラ社 22cm×29cm 39p  
0000503675 12分

ヤモは、内戦の続くアフガニスタンのある村に住む少年です。ある日、とうさんと果物を売りにまちへでかけました。戦争の影が見え隠れしながらも、幸せに続いていく村の生活を、色鮮やかな絵で描いていきます。結末の、突然とも思える一文が戦争の理不尽さを伝えます。続編に『ぼくの村にサーカスがきた』『せかいいちうつくしい村へかえる』があります。

## せんそう ー昭和 20 年 3 月 10 日 東京大空襲のことー

塚本千恵子著 塚本やすし絵 東京書籍 27cm 47p 0012907972 9分

東京大空襲を奇跡的に生き延びた「わたし」を語り手に、太い輪郭線とはっきりとした色づけの絵で、すさまじい空襲の様子を描写しています。簡潔な言葉で事実を淡々と紡ぎ、最後の一言には戦争の悲惨さ、戦争への怒りが滲みでています。

## トビウオのぼうやはびょうきです いぬいとみこ著 津田櫓冬絵 金の星社 24×25cm 29p

0070020839 10分

アメリカの水爆実験を、海の生き物たちの物語として描いています。トビウオの父さんは吹き飛ばされ、海に白い灰が降って、ぼうやは被爆して病気になります。淡い緑と、ブルーグレイを基調とした印象的な絵柄は、南の海の惨劇を、今も静かに伝えます。

## 非武装地帯に春がくると イ オクベ著 おおたけきよみ訳 童心社

26cm 34p 0012270722 8分

朝鮮半島には、人間が入ることのできない非武装地帯があります。四季の移ろいの中、自由に行き来できる生きものたちの様子と、展望台にたたずんだまま平和を願うおじさんの気持ちの対比を、あたたかみのある色調の絵で丁寧に描きます。



## ひろしまのピカ 丸木 俊著・絵 小峰書店 24×25cm 47p 0000232562 15分

1945年8月6日、人類初めての原子爆弾が広島に投下されました。7歳のみいちゃんとお母さんは、炎に追われ、広島の町をさまよいます。原爆投下直後の光景をありのままに描いた絵からは、戦争の恐ろしさがひしひしと伝わってきます。

## へいわってどんなこと？ 浜田桂子著 童心社 21×23cm 36p 0012270717 3分

平和について、子どもたちが身近に感じられることを、順々に取り上げていきます。やさしく簡潔な言葉がテンポよく全体を先へ進め、絵は親しみやすく、躍動感があります。争いは黒やグレーを、平和は黄色を基調にした温かい色を使って対比させています。

## ふるさとにかえりたい ーリミヨおばあちゃんとヒバクの島ー

羽生田有紀著 島田興生写真 子どもの未来社 31cm 27p 0012899189 15分

リミヨおばあちゃんのふるさは、マーシャル諸島のロングラップ島です。彼女が13歳の時に、アメリカの水爆実験のため住民たちは被爆し、島を離れなくてはなりません。リミヨおばあちゃんを語り手に、長年にわたり放射能に苦しめられる人々の姿を記録した写真絵本です。

## まちゃんと 松谷みよ子著 司 修絵 偕成社 25cm 32p 0070007626 5分

昭和20年8月6日、もうじき3つになる子が原子爆弾で死に、鳥になりました。その鳥は今でも飛んでいるのです。幼い子に語りかけるような平易な言葉と美しい色彩の絵からは、戦争のこわさや平和を願う心が伝わってきます。



# 中学生に なに読もう？

## — 詩とことば遊びの絵本 —

中学生に絵本の読み聞かせをしてみようという方を対象とした、テーマごとのリストです。図書に関する記載事項は、書名・編著者名・画家名・訳者名・出版社・大きさ・ページ数・大阪市立図書館書誌ID・通して読むのにかかる時間の目安の順になっています。なお、詩集については、所要時間は記載していません。

### 大阪ことばあそびうた 島田陽子著 阪口真智子絵 編集工房ノア

22cm 79p 0000195677

耳にやわらかく、口にするとおかしみのある大阪弁でつづられた30編の詩集です。お祭りや橋を詠んだ風物詩は、まるでそこにいるかのようなワクワクした気持ちにしてくれます。テンポのよい文を口に出すと、より楽しさが広がります。



### これはのみのぴこ 谷川俊太郎著 和田 誠絵 サンリード 29cm 32p 0070020137 5分

「これは のみの ぴこ」、「これは のみの ぴこの すんでいる ねこの ごえもん」と、ページをめくるたびに言葉が積み重なって、世界が広がっていきます。読んでいくうちにリズムにのって、読み手も聞き手も楽しい時間を共有することができます。

### 知らざあ言って聞かせやしよう (声に出すことばえほん) 河竹黙阿弥文 飯野和好構成・絵 齋藤 孝

編 ほるぷ出版 22×22cm 36p 0010796424 4分

「知らざあ言って聞かせやしよう。浜の真砂と五右衛門が、歌に残せし盗人の…」盗賊五人組の一人、弁天小僧の名台詞にそって、捕り物の様子と彼の半生が、妖しく迫力のある絵で生き生きと描かれています。歌舞伎調のリズムで、読むと気持ちがよく、聞く人をひきつけます。

### しりとりあそびちやいろ (しゃしんであそぼ3) 星川ひろ子、星川治雄著・写真 小学館 20×20cm 24p

0011764766 4分

茶色のものでしりとりあそびをします。最初は「ちやいろ」の「ろ」から始まり、ログハウス、すいしゃ、やきぶた、と続きます。次の言葉のヒントが各ページにあり、クイズのように楽しめます。つながる言葉と写真の美しさが堪能できます。

### ぜつぼうの濁点 原田宗典著 柚木沙弥郎絵 教育画劇 27cm 32p 0011250646 6分

昔、ひらがなの国の道端に、濁点だけが置き去りにされていました。擬人化された濁点が主人公で、「ぜつぼう」に長年仕えた濁点が新しい主を見つけるまでが描かれます。ことば遊びの要素が物語にうまく絡み合い、奥深い物語となっています。

**力いっぱいきりぎりす —動物の俳句—**（めくってびっくり俳句絵本 2）村井康司編 nakaban 絵  
岩崎書店 22cm 32p 0011977071 4分

動物が出てくる14句を収録しています。三つ折りページをめくると、見開きいっぱいに、力強く色彩豊かな絵と短い解説とで、一句の情景が味わい深く描き出されています。江戸時代から現代まで、バラエティに富んだ俳句が収められ、子どもから大人まで楽しめます。

**月夜のみみずく** ジェイン=ヨーレン詩 ジョン=ショーエンヘル絵 工藤 直子訳 偕成社 29cm 32p  
0070009082 13分

女の子と父さんは、月夜の雪の森へ、みみずくを探しに出かけます。夜更けの静寂の中、女の子の緊張と期待と胸の高鳴りが手に取るように伝わってきます。詩でつづられ、言葉の響きが心地よい文章と迫力のあるみずみずしい絵で、神秘的な情景が美しく描かれています。

**生麦生米生卵**（声にだすことばえほん）長谷川義史作・絵 齋藤 孝編  
ほるぷ出版 22cm 32p 0011341366 2分

「無理に結んだ結び目六つ」、「隣の客はよく柿食う客だ」など、様々な早口言葉にのせて、少し古風な結婚式の一日が描かれます。味わいのある絵で、ユーモアたっぷりに描かれた物語と、早口言葉とのコラボレーションが絶妙です。



**ポケット詩集** 田中和雄編 童話屋 16cm 157p 0000709751

宮沢賢治の「雨ニモマケズ」から始まり、まど・みちお、茨木のり子など、著名な詩人による33編の詩集です。自分の存在に疑問をもった時、友だちとの関係に悩んでいる時など、子どもたちの心に寄り添った、味わい深い作品が収録されています。

**まさかさかさ動物回文集** 石津ちひろ著 長 新太絵 河出書房新社 19cm 61p 0011512194

「いかゆらゆらゆかい」、「だらりごすいするすいすごりらだ」、「ちんぱんじいからかいじんぱんち」など、普段考えもつかない回文が次々と繰り出されます。とぼけた味わいのある挿絵が、おかしさをいっそう後押しします。



**まんじゅうこわい**（落語絵本 2）川端 誠著・絵 クレヨンハウス 31cm 24p  
0010533358 7分

町内の若い衆が集まって、へび、たぬき、くもなど、嫌いなもののお話をします。松つあんの「嫌いなものはないが、怖いものはまんじゅう」という言葉を受けて、皆は彼を驚かすことにしました。言葉のリズムや響きが楽しい古典落語の名作です。

**やあ、もしもし！** クリス・ラシュカ著・絵 泉山真奈美訳 偕成社 29cm 39p 0000852497 4分

つまらなそうにしている男の子に、突然友だちから電話がかかってきます。電話のこちら側だけの短いセリフとともに、男の子の気持ちの変化が表情豊かに描かれ、会話が展開していきます。大きく描かれた英語の文字が絵と一体となり、英語での会話の雰囲気がよく伝わってきます。